2023（令和５）年４月２１日（金）

Airplane

国立市立国立第三中学校
第二学年通信　第４号

五つのお願い

みなさんは、コンピュータを製造・販売しているＩＢＭという会社を知っているでしょうか。黎明（新しい時代や新しい文学や芸術の運動が始まること、またその時）期から業界を牽引してきて（先頭に立って物事を行い、他の人や集団を率いていくこと、また、物事をある方向に引っ張っていくこと）、十数年前にパーソナルコンピュータ部門を中国のレノボというメーカーに売却し、もっぱら大型コンピュータのを中心に企業活動を行っているメーカーです。もともと、アメリカの企業なのですが、その初代の社長さんが、あるとき会社の若い人を集めて、次の五つのことを実行してほしいと話したそうです。私も、みなさんに同じことをお願いしたいと思います。

第一に、**『本を読む』**ということです。私たちが、生きている間に読める本の数はたかが知れています。できるだけ良い本を読むように心がけてほしいと思います。

第二に、**『人の話をよく聞く』**ということです。私たちに口が一つ、耳が二つあるのは、話すことよりも聞くことが大切だからです。人の話を素直な気持ちで聞くことが自分を成長させることになるのです。そして、わからないことは自分から積極的に聞くことです。わからないことは恥ずかしいことではありません。わからろうとしないことの方がずっと恥ずかしいことですし、いつまでも自分を成長させることはできないと思います。

第三に**『人と話し合う』**ということ。一人の力というものには限りがあります。昔から『三人よれば文殊（仏教で知恵をつかさどる菩薩（＝仏）のことで普通、獅子（＝ライオン）に乗り、釈迦の左にいる）の知恵（人が三人集まって話し合えば、知恵の仏である文殊菩薩にも匹敵するアイディアが浮かぶものだ）』といいます。人と話し合うことで今まで気づかなかったことに気づくことがたくさんあります。そして、人にはいろいろな考え方があるのだということを知ることが大切だと思います。決して自分だけが正しいと考えないことです。また、一人の人と話し合うよりは、二人、三人の人と話し合う方がいっそうすてきなことを得ることができるでしょう。

第四に、**『よく物事を観察する』**ということです。『百聞は一見にしかず（何度も人から聞くよりも実際に自分の目で見る方がまさっている）』といった人がいます。わかったつもりになってしまうと物事をじっくり見ないことになります。例えば、蝶が飛んでいるのを見て『ああ、蝶だ』で終わってしまえば、それがどんな種類の蝶でどのようにして飛ぶのか、その時期にその蝶が飛ぶと言うことは気象的な意味でどんな様子であるのかなどということを考えないことになりやすいものです。『じっくりと見るぞ』と思ってみなければ見えてこないこともたくさんあるのです。

最後の一つ、第五に、**『考える』**ということです。これは、国立三中の教育目標にも取り上げられていますね。いつも心に『なぜだろう』という問いを持つことを心がけて下さい。考えることで人類は進歩してきました。じっくりと考えたら、行動することです。行動して失敗するかもしれません。しかし、失敗を怖がって何もしないのでは困ります。失敗も良い経験なのです。

中堅学年としての一年が始まり、早三週間。これからの毎日をどう過ごすのか、過ごさなければいけないのか、それを考えるのが、中堅学年としての皆さんに与えられた、課題なのかもしれませんね。

来週の予定：4月24日（月）～28日（金）

４月最終週になります。ゴールデンウィークの連休中の計画を立てましょう。

日	曜	行　　事
24	月	普通時程　通常時間割 １校時：学活
25	火	特別時程　通常時間割 1校時:道徳
26	水	特別時程　給食無し　部活中止 耳鼻科検診（２・３組） 1校時:時間割 3校時の授業 2校時:時間割 4校時の授業 3校時:時間割 5校時の授業
27	木	普通時程　通常時間割
28	金	特別時程　通常時間割 生徒委員会 ５・６校時:総合